個人調査書の記入要領について

Ⅰ〈個人調査書の作成〉

　１　ダウンロード

個人調査書は、志望する学校のＷｅｂページから個人調査書の「パソコン入力版」又は「手書き版」をダウンロードして作成する。

①「パソコン入力版」

　　エクセルで、項目の選択肢をプルダウンリストから選択したり、記入欄に文字を入力したりして作成し、在学校等で指定する用紙に印刷する。

②「手書き版」

　　平成28年度道立特別支援学校高等部（知的障がい）入学者選考の「個人調査書」と同様の内容で、在学校等で指定する用紙に印刷した後、手書きで記入する。

　２　記入

　　　「パソコン入力版」は、本記入要領と別添「個人調査書『パソコン入力版』の記入について」を参考に記入する。

　　　「手書き版」は、本記入要領を参考に記入する。

　３　印刷

　　　印刷は以下の用紙と方法で行う。

|  |  |
| --- | --- |
| 規格 | 日本工業規格Ａ４縦型 |
| 印刷種別 | １色（黒）印刷 |
| 頁数 | ６ページ（表紙を含む） |
| 成形方法等 | ・Ａ４用紙３枚の表裏に印刷し、ホチキスで２か所留めとする。  ・ホチキス留めする位置は、左端から１ｃｍ以内の幅で、上下１／４程度の長さとする。 |
| 刷面 | 両面 |
| 用紙の種類 | Ａ４：上質紙 |
| 用紙の厚さ | Ａ４：70.5ｋｇ |
| 備　考 | 印刷は、コピー機又はレーザープリンターなど、水に濡れてもインクが流れ落ちない印刷機器を使用する。 |

Ⅱ〈表　紙〉

１　写真

写真は、平成27年10月１日以降に撮影した上半身のもの（たて７cm、よこ５cm、カラー、白黒いずれでもよい）を所定の欄にのりづけする。

２　志望校名

入学願書を提出した学校名を記入する。

３　第１志望学科名

「障がいの程度が比較的軽い学科」として設置されている学科を第１志望として出願する場合は、農業科、産業科、木工科、工業科、環境・流通サポート科、家庭科、クリーニング科、福祉サービス科、産業総合科の中から第１志望の学科名を所定の欄に記入する。

「障がいの程度が比較的重い学科」として設置されている学科を第１志望として出願する場合は、生活園芸科、生活窯業科、生活技術科、生活家庭科の中から第１志望の学科名を所定の欄に記入する。

札幌あいの里高等支援学校の「普通科（普通科Ⅰ型）」に出願する場合は、「普通科」と記入する。

なお、生徒募集要領の「学校名、募集学科及び定員」の欄を参照し、受検校において希望する学科の有無を確認の上、記入する。

Ⅲ〈本　票〉

１　就学歴

学校名を記入し、〔　　〕内は、在籍する学級名を○で囲む。

２　施設入所歴・職歴等

(1) 入所(通所)した福祉施設名、入所期間及び入所の主な理由を記入する。

(2) 就職先、在職期間及び本人の従事した職種等を記入する。

(3) 中学校、特別支援学校等(中学部)卒業後、現在までの経歴について具体的に事実を記入する。（高等学校、専門学校等への進学や自宅待機を含む）

３　保護者等の状況

(1) 保護者については、別居している場合も記入する。

(2) 両親がいない場合、又は親権代行者がいる場合は、その氏名を下の空欄に記入する。

４　障がい等の状況

(1) 療育手帳や身体障がい者手帳等の有無やその程度、あるいは取得の見込みについて記入する。

(2) 検査等の欄には、これまで公的機関(学校を除く)で実施した知能検査等の結果がある場合は、記入する。

(3) 医療機関等において知的障がい（又は精神遅滞等）と診断されている場合は、その診断機関名と時期を記入する。

(4) 該当する項目や欄については、必ず記入する。

５　教育相談

入学願書提出時までに教育相談を受けている場合は、「有」を○で囲み、学校名を記入する。受けていない場合は、「無」を○で囲む。

６　出欠の記録

欠席の理由は、欠席日数の多少にかかわらず記入する。（ただし、第３学年については第２学期末現在の日数で記入する。）

７　学習の記録

(1) 観点に沿って、第３学年の状況についてのみ具体的に記入する。

(2) 作業学習及び自立活動を実施している場合は、作業的要素及び自立活動の欄に記入する。

(3) 特別活動の記録については、第３学年の状況についてのみ具体的に記入する。

(4) 行動及び性格の記録は、中学校、特別支援学校(中学部)在学中の３年間について、具体的に記入する。

８　生活の記録

(1) 回答は、状態の内容について、できない場合は１、だいたいできる場合は２、できる場合は３を選び、該当する番号に○印を記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 〈例〉 | できない  １ | だいたいできる  ２ | できる  ３ |

(2) 「できない」(「全面介助が必要」な状態を含む)場合は、その理由や介助の程度を具体的事項欄に記入する。

(3) 「失禁等や夜尿がある」等の欄で、１と回答した場合は、その行動や行為の場面、時間、内容等を具体的事項欄に記入する。

(4) 確認事項以外に特記すべき事項がある場合は、特記事項欄に具体的に記入する。

９　健康診断等の記録

(1) 学校において第３学年に実施した健康診断の結果を中心に、健康診断票から転記する。

(2) 内科、脳波検査、心電図検査の欄については受けたことがある場合、最近のものを記入する。

※「パソコン入力版」による場合は、別添「個人調査書『パソコン入力版』の記入について」を参照するとともに、記入もれのないようにご注意ください。